令 和 ６ 年 度

９ 月 追 加 補 正 予 算(案)

事 業 別 概 要

（一般会計）

令和６年度９月追加補正予算（案）
事業別概要目次（ 一般会計 ）

担当課	項目名		ページ
【農林水産部】			
農政企画課	鳥取市果樹カメムシ類緊急防除支援事業費	・・・	9
農政企画課	畜産経営緊急支援事業費	・・・	9
【都市整備部】			
河川公園課	単独災害復旧費	・・・	10
【債務負担行為の概要】			
文化財課	重要文化財仁風閣保存整備事業費	・・・	13

（参考）第１１次鳥取市総合計画　体系図兼コード表

まちづくりの目標・方針		政策		基本施策コード	基本施策
00	計画推進における基本方針			0001	多様化する市民ニーズへ対応するための協働・連携体制の強化
				0002	時代の変化に即応できる組織体制の構築
				0003	将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立
				0004	自治体間の広域的な連携の推進
01	誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち	01	未来を創る人材を育むまちづくり	1101	結婚・出産・子育て支援
				1102	教育の充実・郷土愛の醸成
				1103	生涯学習の推進
		02	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり	1201	安心できる社会保障制度の運営
				1202	超高齢社会に向けたまちづくりの推進
				1203	障がいのある人の自立支援
		03	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	1301	健康づくり・疾病予防・介護予防の推進
				1302	安全・安心のための保健衛生と医療の推進
				1303	スポーツ・レクリエーションの振興
		04	人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり	1401	人権擁護の推進と人権意識の醸成
				1402	男女共同参画社会の形成
				1403	地域福祉の推進
				1404	多文化共生のまちづくりの推進
				1405	協働のまちづくりの推進
02	人が行きかい、にぎわいあふれるまち	01	ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり	2101	持続可能な経済成長の実現
				2102	工業の振興
				2103	商業とサービス業等の振興
				2104	農林水産業の成長産業化
		02	人が集う交流と連携のまちづくり	2201	ふるさと・いなか回帰の促進
				2202	滞在型観光の推進
				2203	シティセールスの推進
				2204	自治体間連携の推進
				2205	他都市との交流の推進
		03	文化芸術の薫りあふれるまちづくり	2301	文化芸術によるまちづくりの推進
				2302	文化財の保存・整備による「まちづくり」資産の形成
		04	快適で暮らしやすい生活環境づくり	2401	生活基盤の充実
				2402	中心市街地の活性化
				2403	魅力ある中山間地域の振興
				2404	交通ネットワークの充実
				2405	地域情報化の推進
03	豊かな自然と調和して安全・安心に暮らせるまち	01	安全・安心に暮らせるまちづくり	3101	地域防災力の向上
				3102	防犯・交通安全対策の充実
				3103	安全・安心な消費生活の確保
		02	環境にやさしいまちづくり	3201	循環型社会の形成
				3202	環境保全活動の推進

一　般　会　計

（予算事業別概要）

農001	項　目　名	鳥取市果樹カメムシ類緊急防除支援事業費

予算書項目	果樹カメムシ類緊急防除支援事業費	ページ	15
年度	R6		

所　属　名
農林水産部
農政企画課

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

（単位：千円）

補正前額	0
要求額	1,143
総務部長段階査定額	1,143
市長段階査定額	1,143

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	571
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	572
計		1,143

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【１１次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
カメムシ類の越冬世代成虫の発生量は多いことから、第１世代成虫が発生する７月中下旬以降に、果樹園への飛来量が増加している。平成16年に二十世紀梨出荷量の４％にあたる680tが被害を受けた状況以上に大量発生が想定される。

【事業の目的及び効果】
被害や飛来状況は、ほ場間差が大きいため、園内外をつぶさに見回り早期発見に努め、移動性が高い害虫であることから広域的な防除作業を効率的に行い、病害虫のまん延と被害拡大防止、生産者の営農意欲及び産地の維持・向上を図る。

【事業の内容】
鳥取市果樹カメムシ類緊急防除支援事業
内容　：令和６年に大量発生した果樹カメムシ類の被害を防ぐために実施された追加防除に要する経費
要件　：５a以上の面積があり果樹カメムシ類用の追加防除（定期防除以外に追加散布２回）を実施した果樹園
対象者　：農業者、ＪＡ、生産組織
対象品目：果樹
補助率　：事業費上限4,500円/10a×2/3（県1/3・市1/3）
防除面積：梨1,902a、ぶどう：189a、柿：1,584a、その他：135a

備　考　欄

農002	項　目　名	畜産経営緊急支援事業費

予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	15
年度	R6		

所　属　名
農林水産部
農政企画課

会計名	
一般会計	
款	農林水産業費
項	農業費
目	畜産業費

（単位：千円）

補正前額	25,241
要求額	600
総務部長段階査定額	600
市長段階査定額	600

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	600
	一般財源	0
計		600

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	600
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【１１次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
世界での飼料作物需要増加、原油高、円安等の影響により、飼料価格、資材・燃料代が高騰した状況が続いており、経営コストに対する飼料費の割合が高い畜産事業者の経営を圧迫している。
一方で、物価高騰に伴う消費者の低価格志向で枝肉価格が低迷しており、和牛肥育農家が素牛（和子牛）の導入を控えるなどの影響から、和子牛の価格が大幅に下落し、その結果、和子牛農家の経営環境の悪化や生産意欲低下により、肉用牛生産基盤の弱体化が懸念される状況が続いている。

【事業の目的及び効果】
鳥取和牛の生産強化につながる前向きな取組を行う生産者に対して、緊急に支援することにより、生産基盤の強化を図り、将来にわたって安定した本市の食を担う畜産事業者の経営の維持安定を図る。

【事業の内容】※下記④を追加
・セリ上場時に県発育基準を満たす牛を出荷する繁殖事業者に支援（和子牛飼料緊急支援）

①-1【肉用牛】牛マルキン制度の補填拡充支援　2,838千円　《市1/4》
①-2【肉用豚】豚マルキン制度の補填拡充支援　2,565千円　《市1/4》
②　【乳牛】　高騰配合飼料代支援　18,205千円　《市1/4》
③-1【肉用鶏】高騰配合飼料代支援　135千円　《市1/4》
③-2【採卵鶏】高騰配合飼料代支援　1,498千円　《市1/4》
④　【繁殖牛】和子牛飼料緊急支援　600千円　《10千円/頭》※追加支援
合計額　25,841千円

※その他財源の繰入金は、新型コロナウイルス感染症緊急対策基金繰入金

備　考　欄

都001	項　目　名	単独災害復旧費

予算書項目	現年発生災害復旧費	ページ	15

所　属　名
都市整備部 河川公園課

年度	R6

会計名	
一般会計	
款	災害復旧費
項	災害復旧費
目	公共土木災害復旧費

（単位：千円）

補正前額	3,500

要求額	2,500

総務部長段階査定額	2,500

市長段階査定額	2,500

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	2,500
	その他	0
	一般財源	0
計		2,500

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】河川係 0857-30-8343

【１１次総の施策体系】2401

【事業の経過及び背景】
令和６年７月14日の大雨により普通河川尾際谷川の護岸の一部が被災したため、復旧するもの。

【事業の目的及び効果】
適切な施設機能を確保するため災害復旧工事を実施する。

【事業の内容】
被災箇所：尾際谷川（佐治町尾際地内）
施行内容：護岸復旧及び土砂撤去　2,500千円

備　考　欄

一　般　会　計

（債務負担行為概要）

令和6年度9月追加補正予算債務負担行為の概要

事　　業　　名	担　当　課
重要文化財仁風閣保存整備事業費	文化財課

［単位:千円］

区　分	限度額	期　間	財源内訳				
			国	県	起　債	その他	一般財源
補正前	434,819	令和7年度～9年度	217,409	52,902	147,900	0	16,608
補正後	434,819	令和7年度～10年度	217,409	52,902	147,900	0	16,608

［事業の目的］

重要文化財仁風閣は、明治40年に大正天皇(当時皇太子)の山陰行啓に際し、当地の宿舎として旧鳥取藩主池田氏が城跡に建てたもので、山陰地方における数少ない明治洋風建築の遺構として貴重であることから、鳥取市に譲与されたのち昭和48年６月に国の重要文化財に指定された。

本事業の実施により、市民の誇りである重要文化財仁風閣を将来にわたって伝えていく。

［事業の内容］

近年、雨漏りや壁面の剥落など経年劣化が著しく、指定文化財として保存修理を要する状況にあることから、令和６年度から保存修理工事及び耐震補強を実施する。
（全体事業費518,585千円のうち、令和７年度以降の事業費は434,819千円）

・変更内容
適正工期を確保するため、期間を１年延長する。

［これまでの関連する取組］

令和２年度　保存修理計画策定
令和３年度　修理検討委員会組織、委員会開催ほか
令和４年度　現状調査、耐震診断ほか
令和５年度　修理実施設計、耐震補強設計ほか
令和６年度　債務負担行為（６月議会で議決）
　　公募型指名競争入札（９月３日実施　１社応札があったが結果は無効）

［今後の取組］

９月議会で債務負担行為の議決を得た後のスケジュールは、次のとおり。
令和６～10年度　　保存修理工事及び耐震補強
令和11年度　　展示品製作（別途事業）
令和11年度下半期　　リニューアルオープン(予定)